

## 人材の育成

「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて、教育訓練を行っています。

11 住み続けられるまちづくりを



### 乗務員の養成と技能の維持・向上

#### ▶ 鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として、運転士に必要な知識・技能の教育を行っています。あわせて車掌の養成教育を行っています。

#### ▶ 運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約8カ月間受けて、試験に合格する必要があります。

#### 入所

学科講習  
(3.5カ月間)

- 安全の基本
- 信号線路
- 検査修繕
- 鉄道車両
- 鉄道電気
- 作業安全
- 運転法規
- 運転理論

学科修了試験

技能講習  
(4.5カ月間)

- 指導操縦者による運転技能訓練
- 車両点検・故障処置訓練
- 異常時の対応・応急処置訓練

技能修了試験

国土交通省関東運輸局から運転免許交付

#### ▶ 乗務員の技能の維持・向上

運転士・車掌になった後もフォロー教育や監督者による定期的な添乗指導のほか、各職場での勉強会や、個別の面談による指導を通じて、知識・技能の維持・向上を図っています。



シミュレーターによる運転士訓練



シミュレーターによる車掌訓練

#### ▶ 車掌の養成

車掌になるためには、駅係員を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約3カ月間受けて、試験に合格する必要があります。

#### 入所

学科講習  
(1カ月間)

- 安全の基本
- 信号
- 鉄道車両
- 営業規則
- 線路電路

学科修了試験

技能講習  
(2カ月間)

- 見習い者指導による技能訓練
- 車内点検・故障処置訓練
- 異常時の対応・応急処置訓練

技能修了試験

修了証授与

### 乗務員の体調管理

#### ▶ アルコールチェックと健康管理

乗務開始前に、監督者により健康状態を確認するほか、アルコールチェックを徹底しています。

また、定期的に健康診断や適性検査を実施しています。



監督者による点呼

## 駅係員・技術員の教育

### ▶ ホーム訓練室

実際のホームを再現し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などを設置しています。これらの機器を動作させて、異常時の対応訓練を行っています。



### ▶ 信号扱い訓練室

列車運行管理システムが故障した時などに備え、信号操作の取り扱い(てこ操作)訓練を行っています。



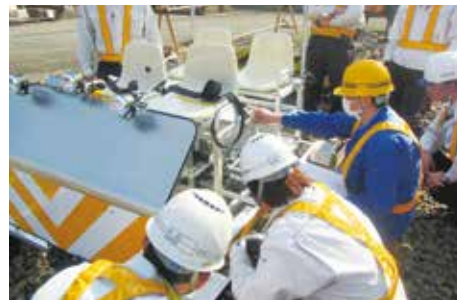
### ▶ 屋外訓練施設

実際の架線や踏切保安設備などを設置しています。日々の保守・点検作業の手順などを確認するほか、異常時における対応力の強化に向けた訓練を行っています。



## 協力会社との勉強会

施設・車両などの保守管理を委託する協力会社の社員とともに定期的に勉強会を実施しています。



## 技術の継承

ベテラン社員が「車両の改造と新造」をテーマに講義を行うなど、技術の継承に取り組んでいます。



VOICE

安全推進部 鉄道教習所 教師  
**大木 淳一**

安全で快適な鉄道輸送をお客様に提供するために、運転技術や機器の操作だけでなく、鉄道法規・機器やシステムの仕組み・異常時における対応方、過去の事故から学ぶ安全の重要性など、多岐にわたる教育を行っています。今後も教育を充実させ、安全性とサービス品質の向上に努めてまいります。